

発表日：2016年6月15日

DLE×地方創生×古典 IP

DLE、川端康成の不朽の名作『古都』を実写映画化 京都を舞台に、今、世界に伝えたい“圧倒的な日本”を表現 主演：松雪泰子、共演：橋本愛、成海璃子

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太、以下、DLE）は、川端康成の不朽の名作『古都』を製作幹事として実写映画化、11月26日（土）に京都先行公開、12月3日（土）に全国公開することをお知らせいたします。

2020年の東京オリンピックに向けて世界中から注目を浴びる日本に、私たち日本人が日本の素晴らしさを再認識出来る、そして世界に向け日本文化を現代表現する映画が『古都』です。



【映画「古都」について】

本作は、1962年に新潮社より刊行された川端康成『古都』の現代版。これまで多くの映像作品となってきた「古都」を、原作では描かれなかった大人になった主人公たちの物語として映像化しました。

主演は、松雪泰子。京都の町で伝統の継承に生涯を捧げる呉服屋の姉・佐田千重子と京都伝統の北山杉の里で働く双子の妹・中田苗子を一人二役で演じる。また呉服屋の千重子の娘・佐田舞に『告白』で鮮烈なスクリーンデビューを果たし『桐島、部活やめるってよ』や『ツナグ』での演技を高く評価された若手実力派、橋本愛。そして双子の妹・材木屋の苗子の娘で、京都と並ぶもう一つの古都フランス・パリで一人国立美術大学に通い絵画制作に励む中田結衣役に『あしたの私のつくり方』『武士道シックスティーン』『無伴奏』などをはじめ多数の映画、ドラマ、舞台で活躍する成海璃子。京都とパリ、古都に生きる母娘の人生が交差し果たしてどこへ向かうのか。その他、蒼れいな、蒼あんな、葉山奨之、栗塚旭、伊原剛志、奥田瑛二らが脇を固めます。

監督は、Yuki Saito。高校卒業後に渡米し、ハリウッドで8年映画作りを学び、帰国後もアレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトウなど名匠の現場に参加、両国の架け橋となります。その後CMや短編、連続テレビドラマなどで活躍し、満を持して今作のメガホンを取りました。世界視点から、日本が誇る圧倒的な京都の美しさ、凜とした『日本の精神』を五感で体感できる新しい作品に仕上げました。また、本作の舞台である四季折々の京都、更に着物、茶道、書道、華道などオール京都の全面協力によって、本物の“京都”を描き切りました。

■映画『古都』概要

原作：川端康成『古都』（新潮文庫刊）

出演：松雪泰子（一人二役）、橋本愛、成海璃子、蒼れいな、蒼あんな、葉山奨之、栗塚旭、迫田孝也／伊原剛志、奥田瑛二

監督：Yuki Saito

脚本：眞武泰徳／梶本恵美／Yuki Saito

題字：小林芙蓉

製作幹事・配給：DLE

企画／制作：and pictures

特別制作協力：beachwalkers.

後援：京都府、京都市、一般社団法人 京都経済同友会、京都商工会議所

支援：裏千家今日庵、一般財団法人 池坊華道会

協力：公益財団法人 川端康成記念會、特定非営利活動法人 遊悠舎京すずめ

©川端康成記念會/古都プロジェクト

■あらすじ

京都室町に先祖代々続く佐田呉服店。店を継いだ日から20年間、佐田千重子（松雪泰子）は同じ場所で変わらない生活を送っていた。古くから付き合いのある職人が次々廃業する変わりゆく時代の中で店をどうしていくのか、室町に生まれた宿命を娘の舞（橋本愛）に背負わせていいものか葛藤の中で生きていた。大学生の舞は、就職活動の時期に差し掛かり就職活動をするの友人との会話にも入りきれず、店を継ぐべきなのか迷っていた。

一方京都のはずれ、北山杉の里で林業を営む中田苗子（松雪泰子／二役）。千重子と同じ顔をした苗子は生き別れた双子の妹。苗子もまた深刻な経営悪化に陥っていた。苗子の娘の結衣（成海璃子）はその美術の才能を活かし北山杉を使い何か新しいことが出来ないかとフランスに留学。しかし留学先で他の学生との力の差を感じ、無力感に苛まれていた。それを感じとった苗子は娘に会う為にパリ行きを決意する。

呉服屋の娘の舞もパリで開催される日本文化を披露するイベントに参加する為にパリへ向かう事となった。母から娘へ受け継がれる伝統。今、京都の伝統に生きる2組の母娘の人生が初めて交差する一。

■松雪泰子コメント：

京都での撮影は、実際に室町で呉服屋さんをされてる方の町家をお借りしての撮影で、代々受け継がれる伝統を感じながらの撮影でした。

ある意味重圧にもなり得るその重みを背負って生きる千重子の生き様を感じる事が出来ました

パリでの撮影は、凝縮した時間でしたが同じく伝統を大切にするその町並みは、古都というタイトルどおり、何処か京都との繋がりを感じながらの撮影でした。

お稽古は、一カ月間着付けや、裏千家のお茶の稽古、京言葉の稽古、京都の料理屋さんでの、稽古など重ねました。

やはり、伝統を守る立場でそれを背負っている千重子には、非常に重要な要素でしたので毎日稽古を重ねました

今作は、古都の世界観をベースに千重子、苗子のそれぞれの子供たちとの母と娘、親子の物語り、オリジナルの古都を軸に未来に繋いで行く物語りです。

現代における、京都の現状。伝統を大切にすることやその重圧、そして未来に繋いで行く事、そしてそれを担う娘の葛藤。

かつての古都の時間軸から、現代にまで繋がりそして未来を紡いでいく物語りです。

母と娘そして、家族の想い、映像的にも京都の美しい風景やパリの街並みが美しく描かれ静かにゆっくりと、物語りが浸透していく、そんな作品です。

■橋本愛コメント：

お茶、書道、座禅、日本舞踊と日本の文化や伝統芸能を学ぶことができてとても嬉しかったです。

一部パリロケがあったのですが、京都もパリもだっすきな町。文化や芸術が大事に守られていて、どちらの土地にも、静かな自信とパワーを感じました。

川端さんの原作は二度映画化されてますが、今回はその先の、今の世代に継いだ新しい物語になりました。取り留めない、さらさら流れる水のような印象で、舞ちゃんを演じている上でも、水の感覚はずっとあって、ふわふわしていました。

どんな仕上がりになっているのか、楽しみにしているところです。

■成海璃子コメント：

撮影期間は一週間という短い時間でしたが、その分グッと集中して取り組むことができました。

現地のフランス人スタッフも素晴らしく、良い撮影現場だったと思います。

■監督Yuki Saitoコメント：

古き伝統をいかに次の世代に継承すべきか？季節の移ろいは変わらないのに、人の価値観は時代と共に変わっていきます。しかし、そのDNAレベルに刻まれた精神は揺るぎません。過去に2人の偉大な映画監督によって映画化された川端康成先生の原作をそのまま焼き増しするのではなく、今の時代を生きる自分の視点で、新しい「古都」に挑戦しました。この志しの元に集まった松雪さんはじめ最高のキャスト&クルーにより、日本の伝統・文化・精神を世界へ発信出来れば幸いです。

■京都について

映画『古都』にまつわる、京都の、これまでにない究極の「ほんまもん」へのこだわり

- ① 茶道のシーンでは裏千家今日庵様の全面ご協力により、御家元より国宝級のお道具を拝借し監修して頂く。
- ② 華道のシーンでは、池坊専好次期家元に、禅のシーンでは妙心寺退蔵院 松山大耕副住職に自らご出演頂き「ほんまもん」を追求。
- ③ 松雪泰子着用の和装は、宮内庁御用達の藤井寛の着物や山口美術織物の帯をはじめ、総額 2,000 万超え！
- ④ 川端康成本人が取材に訪れ、先代田畑喜八との交流を知る 5 代目田畑喜八が「古都」のために、一から橋本愛着用の着物をデザイン。
- ⑤ オールロケの京都府、京都市が後援した初めての映画企画。

【DLEの実写映画プロデュースの目的】

DLEは唯一無二のCool Japanカンパニーとして、実写映画も含めた様々なメディアに応じた映像コンテンツのプロデュースへと事業領域を拡大していきます。DLEが幹事として製作委員会を組成するほか、映像コンテンツへの出資を積極的に行っていきます。特に実写映画プロデュースでは、下記の3つを大きな柱として考えています。

（１）地方創生事業との連動

「秘密結社 鷹の爪」や「パンパカパンツ」等を通して、DLEがキャラクタービジネスで地方都市との連携事業で培ってきた、ノウハウ、ネットワークを実写の映像ビジネスへの活用を広げて、地方都市の公共機関や民間企業と連携しながら、映像ビジネスを絡めた地方創生事業として推進していきます。

（２）キャラクタービジネスによる多面的な収益スキーム

DLEの強みである、キャラクタービジネスを取り入れていくことにより、特に実写の映像ビジネスで陥りやすい、映像販売でしか収益を見込めないスキームではなく、多面的な収益モデルを目指します。さらに、キャラクターを実写映画で活用することで従来のアニメファン層よりも幅広い層へのリーチを目指します。また、映画等ではキャラクターの宣伝起用も盛り込むことで、企業広告等、宣伝プランの幅を広げた、映像プロデュースを推進していきます。

（３）コンテンツ大国「日本」に眠る原作、カルチャーを国内外に向けてリプロデュース

そのまま映画化してもなかなか現代のユーザーへ届けることが難しいIP（原作等の知的財産）を、現代の人が楽しめるコンテンツとして、DLEがリプロデュースすることで国内外への付加価値を高め、過去作品の再展開を求めているIPホルダーの要望に応えていきます。

■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

IP（著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズ、2016年に東証一部へ上場。

アニメ・キャラクター（秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ、貝社員等）やファッション・ビューティー（東京ガールズコレクション）といった日本が誇れるエンタメコンテンツを包括的に保有し、地方創生、海外展開などを積極的に推進する。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp IR担当：深瀬